

第152回和光市環境づくり市民会議定例会(全体会議)要旨

日時 令和元年9月18日(水)午後3時～午後4時半
場所 403議室
出席者 4名
峯岸正雄、芝勝治、友國洋、松田廣行
傍聴者 なし
事務局 環境課 課長 亀井、主幹 加藤、塩野

1 開会

- 峯岸会長から開会のあいさつ。

2 議題

(1) 第2次和光市環境基本計画実行計画改訂版に係る平成30年度実施状況の点検・評価について

- 「望ましい姿1 豊かな水と緑を守り育み伝えるまち」について
 - ・施策2について、緑を残す基金の取り組みにずっと進展が見られず、調査研究の進捗が分からないように思う。今後の方向性についても毎年文言が変わらない。同時に、市民会議としてもそのことについて明確に指摘をしていないのはいかがかと思う。
 - ・率直に言って内容が変わり映えしない。
 - ・施策3の環境マップについて→(環境課)増刷については、残部の様子を見て予算の範囲内で対応する。
 - ・施策7の湧水地の保全について、7月のフィールドワークで見学した朝霞市の代官水の担当者は熱意があった。→(環境課)代官水見学の目的は、文化財としての湧水地の保全について学ぶためだった。そこから、「文化財としての保護も良案」との意見が出たものと思う。今後も担当課と共に考えていく。
- 「望ましい姿2 住みよい環境を未来につなぐまち」について
 - ・市報で市民一人あたりのゴミ処理費用を掲載していたが現在はどうなっているのか。→(環境課)現在はHPで掲載している。
 - ・施策37について、レジ袋有料化等の取り組みをしている店舗が増えているとあるが、データに基づくものであれば確認したい。
 - ・シェアサイクルの評価について→(環境課)新しい取り組みのため、現在の第2次計画には載っていない。次期計画には記載する必要も出てくるのではないかと思う。
- 「望ましい姿3 環境を育てる心がつながるまち」
 - ・望ましい姿3の施策については比較的順調に進んでいる印象。
 - ・施策64の美化サポーター活動との連携については機能している。
 - ・少し話が変わるが、たばこのポイ捨てが少なくなってきたように感じる。→

(環境課) 美化推進員が月曜日と木曜日に清掃している。年々1回に回収するゴミの量は減ってきている。

・川の清掃活動でもたばこの吸い殻が以前よりも減っている。

(2) その他

● 会議の出席率が低いことについて

● 環境月間について

6月の環境月間に中央公民館のパネル展示を見た。他の公民館でもやってはどうか。

● NPO法人太陽光発電所ネットワーク埼玉/和光活動報告(4月欠席のため)

・8月3日・4日に図書館で太陽光のおもちゃ(ソーラーカーやバッタ)を展示していた。また、市民まつりのブースでもおもちゃの展示を行った。

・「ベランダ発電」の講習事業を行っている。太陽光パネルとバッテリーで発電装置を作るものである(講義と組み立て実習講座)。

・7月に、さいたま市の公民館で子ども向けに3時間ぐらいかけてソーラーカーの組み立て、走らせるという講座を行った。それ以外にも県内の色々なところで行っている。

・保育園や幼稚園で太陽光など自然エネルギーを利用する体験講座を行っている。要請があれば和光市でもやりたい。

3 閉会